



学校便り

小宿小学校 11月号

児童数 350人 (R 7. 11. 1現在)

令和7年11月28日



「失敗」は人を大きくする！人をあたたかくする…。



詩集『にんげんだもの』で有名な「相田みつを」(詩人・書家)の詩に『受身』という作品があります。その詩について、みつをさんは、次のような解釈を述べられています。『(前略) 早くから勝つことを覚えるな 負けることをうんと学べ 恥をさらすことにうまくなれ そして下積みや下働きの苦しみをたっぷり体験することだ 体験したものは身につく 身についたものーそれはほんものだ (中略) そして 負け方や受身の ほんとうに身についた人間が 世の中の悲しみや苦しみに耐えて ひと(他人)の胸の痛みを 心の底から理解できる やさしく暖かい人間になれる んです (後略)』

加えて、「相田みつを」の長男である「相田 一人」氏(相田みつを美術館長)が、生前の父親を振り返り、ある雑誌に右下のように記しているのを目にしたことがあります。親として我が子に、また、教師として子どもたちにどのように接するべきか考えさせられたことを覚えています。

これから社会を実際に生き抜いていくのは「子ども」です。親が代わることはできません。かわいくておしい小宿の子どもたちが、心身ともにたくましく成長するためには様々な経験をする中で、困難に立ち向かう力を身に付けさせたい。かわいそうだからと子どもが直面する壁や不便なこと、不自由なことを大人が排除してやるのではなく、かわいいからこそ失敗も経験させながら、自分で起き上がったり、乗り越えようとしたりする心の強さを育てていきたいのです。



期待した結果にはならませんでしたが、父が幼い私にいろいろな失敗の体験をさせた記憶が残っています。
(相田 一人)

では、そのためにどうしたらいいのでしょうか? 父なりの答えが「愛身」でした。子と共に、負ける練習をたくさんやれるJYUです。やつして、受身が身につかず、何度も立ち上がりがれるからです。

「子どもというものは、親生き後、親よりももっと長い人生を一人で歩いていかなくてはならない。親が元気なうちは、子どもに何かあっても親が守つてあげることができる。しかし、親がいなくなつたら、それはできない。だから、子どもが小さいうちから一人でたくましく生きていいけるようにしておくことが親の大事な務めだ。」

AIとの共存

先日行われた教頭研修会で、ある学校の教頭先生が「AIをどのぐらい使っていますか?」という話題になりました。確かに私もちょくちょく使い、本年度の県民週間のポスターをAIで作成してみました。(配付までには至らず、お蔵入りしましたが…。右の図参照。) 今やAIが急速に普及し、これから時代、人間とAIが共存する社会がやってくる?いや、もうやってきている時代だといえるでしょう。



さらに某テレビ番組で、「芸能人の写真1枚で短編映画がつくれる」という企画をやっていました。映像を見ると、AIがつくったとは思えないほどのクオリティーの高い映像でした。そこまでAIの技術が進んでいるのかと、感心し

では、AIにどんな指示を与えて映像をつくったのか？思わず写真に収めましたので一部を紹介すると、

夜の江戸の町。提灯が並ぶ路地。メガネをかけた日本人男性が立つ。体を一回転すると同時に、足元から黒い煙の粒子が舞い上がり、衣装が忍者服に変化。スローモーションの360°回転ショット。屋根の上に立つ男、背後の空に赤い月が昇り、雲が出る。江戸の瓦屋根の上を男が疾走。ドローンによる俯瞰ショット→ローアングルへ。(まだまだ続きます。)

これだけ詳しい指示を与えると、ものすごく高いクオリティーの作品ができるんですね。私が作ったポスターは、何と貧弱な指示だったのかと痛感しました。

AIでポスターをつくるにせよ、映像をつくるにせよ、「時代設定は？（過去？現在？未来？）」「場所は？（自宅？オフィス？非日常的な場所？）」「登場人物は？（家族？仕事の同僚？恋人？）」等の創造力を働かせるためには、使用する人間側の経験とそれを言語化する語彙力が必要です。まだまだ私の語彙力や経験値の足りなさを感じた今日このごろでした。私たち教職員も学び続けることが大切なことだと改めて感じたところです。

◆◆◆今後の行事予定◆◆◆

| 2月…土曜授業あり (13日)

4	木	スクールカウンセラー来校⑦ (午後のみ、5日は午前のみ)
9	火	市小・中学校音楽発表会
13	土	持久走大会
21	日	市民清掃日
24	水	2学期終業式
26	金	仕事納め

1月…土曜授業なし

5	月	仕事始め
8	木	3学期始業式
9	金	冬休み図書返却期間（15日まで）
		スクールカウンセラー来校⑧
14	水	鹿児島学力・学習状況調査 (5年：15日まで)
18	日	市民清掃日
19	月	小中合同研修会③
20	火	給食試食会
21	水	CRT学力検査（全学年：国語・理科）
22	木	CRT学力検査（全学年：算数・社会）
26	月	PTA読書タイム⑧
28	水	中学校入学説明会（6年）

